

第7回揖斐川町消防操法大会

〈防火・防災を支える消防団員が操法技術を競う〉

5月27日(日)、市場グラウンドで、第7回揖斐川町消防操法大会が開催されました。小型ポンプの部には29チーム、ポンプ車の部には17チーム(計46チーム)が出場し、消防団員は、連日連夜にわたって行われてきた厳しい訓練の成果を存分に披露し、消防操法技術を競い合いました。大会の結果は次のとおりです。

《小型ポンプの部》

優勝	大和分団	第1班
準優勝	大和分団	第2班
3位	小島分団	第2班
4位	大深分団	第3班
5位	揖斐分団	第2班
6位	大深分団	第2班
7位	大深分団	第1班
8位	小島分団	第4班
9位	胫永分団	第2班
10位	坂下分団	第2班

《ポンプ車の部》

優勝	大和分団	第1班
準優勝	胫永分団	第2班
3位	大和分団	第2班
4位	揖斐分団	第2班
5位	揖斐分団	第1班



▲ポンプ車の部優勝 大和分団 第1班



▲小型ポンプの部優勝 大和分団 第1班

新茶を手摘み 美濃いび茶 地場産業を学ぶ

5月9日(水)、揖斐小学校、大和小学校の3年生といび幼児園、やまと幼児園の5歳児約100人がお茶の手摘み体験と工場見学をしました。この体験は、将来を担う子どもたちに地場産業への理解と愛着を深めてもらうことを目的に「桂茶生産組合」の協力で行われています。

子どもたちは、組合員の方から「一芯三葉」と呼ばれる茶摘み方法を教わり、青々と茂った若葉を丁寧に取り取っていました。その後は、お茶の加工施設を見学し、荒茶に加工する工程や厳しい衛生管理がされ、お茶が製造されていることを学びました。



▲たくさんお茶を摘みました

自衛官募集相談員委嘱式

5月9日(水)、揖斐川町役場で自衛官募集相談員委嘱式が行われました。

国の安全や平和を守るため、自衛官の果たす役割はたいへん重要ですが、少子化などで自衛官の確保が難しくなっている中で、相談員の活躍が期待されます。

今回委嘱を受けた相談員は次の方々です。

平井春男さん(北方)
高橋みどりさん(谷汲深坂)



▲相談員の平井さん(中央右)と高橋さん(中央左)



▲幸運をつかんだ皆さんに記念品が贈られました

5月11日(金)、いび川温泉藤橋の湯の来場者が70万人に達し、いび川温泉藤橋の湯の玄関前で記念のセレモニーが行われました。

70万人目とその前後の方には、揖斐川町の特産品などの記念品が宗宮町長から手渡されました。

70万人目の幸運をつかんだのは、養老町からお越しの改田俊雄さんでした。

改田さんは、「夢にも思わなかったことで、びっくりしました。今年はいいいことがありそうです。」と喜んでいました。

いび川温泉藤橋の湯 来場70万人達成



▲投球フォームの指導を受ける参加者

5月12日(土)と13日(日)に「第45回日本女子ソフトボール1部リーグ第2節岐阜大会」が揖斐川健康広場ビッグランドで開催されました。

ソフトボール女子日本代表の上野由岐子さん(ルネサスエレクトロニクス高崎所属)をはじめ、1部リーグ所属の4チームの選手が2日間にわたって熱戦を繰り広げました。

13日の試合終了後には、デンソーの選手による技術講習会が行われ、町内外から集まった小中高生約200人が参加。バッテリー、守備、バッティングのグループに分かれて、基本を学びました。

第45回日本女子ソフトボール 1部リーグ第2節岐阜大会開催



▲大勢の買い物客でにぎわいました

5月17日(木)、名古屋市金山総合駅で、「揖斐川町大特産市」が行われました。

この日は、町内の農業団体など11店が出店し、都会ではめずらしい揖斐川町の特産品を買い求める来場者で賑わいました。

また、観光PRコーナーも設けられ、魅力ある観光資源が紹介されました。

会場には1日で約1700人が訪れ、来場者は、「いちごの甘い香りに引き寄せられました。」「この時期は、山菜がいいですね。値段も安くてうれしいです。」と買い物を楽しんでいました。

揖斐川町大特産市開催 名古屋で「いび」をPR



▲ミナモと一緒に記念植樹

5月20日(日)、朝鳥公園(上野)で「第62回揖斐緑と水のまつり」が開催され、地域住民ら約250人が参加しました。

今年は「ひろげよう大地うるおす植樹の輪」をテーマに緑化功労者表彰や北方みどりの少年団の代表による「子どもたちの誓い」、桜の苗の記念植樹などが行われました。

また、植樹前には、おじま幼稚園児によるミナモダンスでまつりを盛り上げました。

緑化功労者の表彰を受けられたのは次の方々です。

【岐阜県緑化推進委員会 揖斐支部長表彰】
〔個人〕橋本勝範さん(東横山)
〔団体〕外津汲区 区長 土屋勝由さん

第62回 揖斐緑と水のまつり開催

岐阜県各界功労者表彰受賞

行政や地域づくり、文化・芸術などで長年功績があった方を表彰する県角界功労者表彰式が5月16日（水）にふれあい福寿会館（岐阜市）で行われ、76人と4団体が表彰されました。揖斐川町からは、市町村行政の分野で山口好文さん（坂内坂本）が、スポーツの分野で橋本孝市さん（極楽寺）が表彰を受けました。

山口さんは、20年以上の長きにわたる議会議員としての功績、橋本さんは、20年以上の長きにわたる揖斐川町レクリエーション連盟および県レクリエーション連盟での功績が認められ今回の受賞となりました。受賞おめでとうございます。



▲表彰を受けられた山口さん（右）と橋本さん（左）

春日小学校全校児童田植え体験

～春日美束の貝原棚田～

5月22日（火）、県の「ぎふの棚田21選」に認定されている春日美束の貝原棚田で、春日小学校の全校児童40名が田植え体験をしました。

貝原棚田は、等高線に合わせて細かく作られた美しい形状が特徴です。300年前から受け継がれてきた田んぼ168枚から構成され、そのうちの3枚の田んぼ（約500平方メートル）で田植えを行いました。

子どもたちからは、裸足で感じる田んぼの水や泥の感触に「動きにくいけど苗をきれいに植えることができて楽しかった。」などの感想がありました。

10月上旬には、稲刈りが行われる予定です。



▲貝原棚田での田植え体験の様子

高齢者交通安全指導員委嘱式

～高齢者の事故防止を～

5月24日（木）、揖斐署の高齢者交通安全全指導員の委嘱式と研修会が揖斐川町役場で行われました。同指導員は、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域の集会などで事故防止を呼びかけます。委嘱された皆さんは、次のとおりです。

橋本 満さん（小島）
高橋正昭さん（清水）
竹中みねさん（三輪）
長柄健治さん（谷汲深坂）
國枝久夫さん（谷汲岐礼）
駒月作弘さん（春日美束）
藤田宮子さん（春日六合）
竹中敏明さん（西津汲）
高橋正好さん（乙原）
中野郁子さん（西横山）
山上一男さん（坂内広瀬）



▲堀部署長から委嘱状が手渡されました

北和中学校屋内運動場 改築工事安全祈願祭

5月25日（金）、北和中学校（北方）で屋内運動場改築工事の安全祈願祭が行われ、関係者約40人が工事の安全を祈願しました。

北和中学校の現在の屋内運動場は、1972年に建設され、老朽化に伴う耐震性の不安から改築することとなりました。

安全祈願祭神事後、宗宮町長は「子どもたちが安心して学校生活を送り、災害時には避難所として活用できるように屋内運動場を整備していきたい。」とあいさつしました。

新しい屋内運動場は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ約3300平方メートルで、来年3月に完成予定です。



▲安全祈願祭の様子



▲ごみ分別作業の様子

5月27日(日)、西濃地区11会場(町内6会場)で「2012揖斐川流域クリーン大作戦」が行われ、約3000人が参加しました。

この取り組みは、「きれいな水を次の世代へ」をスローガンに、いびがわみずみずエコステーションを始めとする26団体でつくる西濃環境NPOネットワークや漁業協同組合などの主催で平成12年から行なわれています。

参加者は、空き缶やペットボトルなどのゴミを拾い、ごみの量は約20トンにもなりました。

清掃活動終了後には、アユの成魚放流や水質検査が行われました。

2012揖斐川流域 クリーン大作戦



▲ミナモと一緒にミナモダンス

5月30日(水)、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、スポーツの住民参加率を競うイベント「チャレンジデー2012」が開かれました。チャレンジデーは、スポーツ振興の研究や調査をしている笹川スポーツ財団と各自治体が主催して、0時～21時に15分以上運動をした人の参加率で競います。

今回の対戦相手は、高知県の宿毛市でした。

町では、朝6時30分から各地域でラジ体操を実施。健康広場ではグラウンドゴルフ、卓球、バスケット、ミナモ体操・ダンスなどが行われました。

結果は、参加者1万575人、参加率43・8パーセントで、宿毛市の29・4パーセントを上回り、勝利しました。

チャレンジデー2012

高知県宿毛市に勝利



▲新設された魚道でアユの放流をしました

5月31日(木)、谷汲神原地区の「飛鳥川ベストリバー」事業の竣工式が行われ、関係者約100人が出席しました。

この事業は、治水面・環境面などに配慮した河川整備を進めるため、地元住民や地域で活動する有識者が推進グループを組織して、河川環境調査や計画立案などで参加し、ベストな川づくりを目指す事業です。

飛鳥川ベストリバー推進グループは、平成18年度～24年度までの7年間、生物調査や環境学習などを実施し、その調査結果を踏まえて、魚種に合った魚道が6か所の床固め工に新設されました。

飛鳥川ベストリバー事業竣工式



▲丁寧にとうもろこしの種をまきました

5月19日(土)、極楽寺にある「NPO法人いびがわみずみずエコステーション体験農園」で、平成24年度第1回いび地域環境塾「とうもろこしの種まき」が行われ、揖斐郡内の親子約100人が参加しました。

約700平方メートルの畑の土にはNPO法人の堆肥化ステーションで作られた、生ごみを利用した堆肥がすき込まれています。

当日は、JAいび川の職員による指導のもと種まきが行われました。

参加者は「収穫が楽しみ」、「農園の近くを通ったら成長の様子を見てみたい」と話していました。

このとうもろこしは、8月に収穫される予定です。

平成24年度いび地域環境塾

とうもろこしの種まき

いびがわ健康福祉フェア 2012 開催

5月27日(日)、揖斐川町中央公民館で、「広げていこう 地域の絆」をテーマにいびがわ健康福祉フェア(主催同実行委員会)が開催されました。フェアでは、健康福祉団体の活動状況が報告され、参加者は健康福祉、健康づくり、介護予防について学んだり体験したりしました。

展示部門

揖斐川町社会福祉協議会が募集した児童生徒の福祉標語・習字の作品や福祉施設利用者の作品などの展示がありました。



▲応募作品の展示

オープニング

入賞された児童生徒に表彰状が授与されました。その後、和太鼓、ギター演奏等のミニコンサートが披露されました。



▲入賞者への表彰状授与

体験部門

手話、点字、ゆる体操、車いす、心肺蘇生法、ギフとフラッグ(国体応援フラッグ)などいろいろな体験をするスタンプリーに多数の方が参加しました。



▲ギフとフラッグ(国体応援フラッグ)の体験

バザー部門

屋外のテントで、授産所製品・各種バザーの販売や非常食、綿菓子、お餅の無料配布が行われました



▲パン販売

大ホール

今年秋に開催されるぎふ清流国体・清流大会のPRキャラクター「ミナモ」と一緒にかわいい園児たちがミナモダンスを披露しました。



▲ちびっこのミナモダンスの披露

エンディング

小寺敏秀さんによるギター演奏で社会福祉協議会のボランティアの方々と来場者の皆さんとで合唱をしました。



▲エンディング(合唱)